

2009 年度第4回理事会議事要約

日 時 2009 年 11 月 20 日(金) 15:00～17:50

場 所 東京理科大・理窓会館

出席者 書面参加を含む 25 名の理事および 2 名の監事

議 事1 前回議事録確認の件

・9 月 3 日開催の 2009 年度第 3 回理事会議事録を承認した。

議 事2 前回総務財務委員会議事録確認の件

・10 月 30 日開催の 2009 年度第 3 回総務財務委員会議事録を承認した。

議 事3 各部会委員会報告の件

1. 事業部会

1) 2010 年度秋季大会実行委員を承認した。幹事を指名報告する旨依頼があった。

2) 以下の報告があり了承した。

① 講習会開催(第 340 回)および準備(「精密サロン」)状況について

② 2009 年度秋季大会(神戸大)収支報告

③ 2010 年度春季大会(埼玉大)の準備状況

④ 2010 年度秋季大会準備状況

⑤ ASPEN2009 開催報告

・発表件数:230 件(無効 10 件)、参加登録者:335 名、Young Researchers' Night(若手交流会)参加者:70 名(うち海外 39 名)で大変盛況であった。

・同時に開かれたボードミーティングで次回(香港)、次々回(台湾)が決まり、ASPEN の名目上の事務局(当面)として JSPE が支持された。

⑥ ICPE(2010.7.27-30、シンガポール)準備状況

2. 出版部会

以下の報告があり了承した。

① 電子校閲システムの英語版の作成を検討することとした。また、同 WG は、広報情報部会と連携して次年度も活動を継続する。

② J-STAGE への論文搭載については、2007 年分は今年度中に、遅れている年の分は、加速する。

③ 会誌執筆要綱の英文化の検討、ベストレビューア賞の検討など。

3. 広報・情報部会

以下の報告があり、了承した。

① 学会の賞の英語名の検討(継続)

② 基礎講座校閲状況

③ メルマガ配信、講習会テキスト Web 掲載の状況

4. 財務委員会

一般会計第 3 四半期決算状況は、会員数の減少や催事への参加者数減少などで、収支が悪化。一方、支出削減の努力の効果もでており、周年事業関係の支出があったにもかかわらず事業支出は、前年同期のレベルに抑えられている。

5. 公益認定対策 TF

(1) 公益認定に向けた定款等規定の改定案について

① 定款改定一次案について説明があり、了承した。

② 支部運営規程案(一次)について説明があり、以下の方向で見直すことを確認して了承した。

・支部役員の上限数は、母数となる商議員数で決める。

・重要事項の決議は商議員会議で行う。

③ 専門委員会規程案(一次)について説明があり、以下の方向で対応することを確認して了承した。

・重要事項の決議は幹事会議で行う。

・精密工学会の会員/非会員の別の確認は提出名簿に従い事務局でサポートする。

(2) 遊休財産制限と口座の一元管理について

① 遊休財産限度額の定義について説明のあと、本会の現状が限度額の 93% で危険水域にあるため、「資産取得資金」や「特定費用準備資金」のような遊休財産から控除される特定資産にできるだけシフトする旨の報告があった。シフトの検討は、今年度内に実施する。

② 本部会計での資産シフトのプランが示された。その方向で規則も含め改めて理事会に提案する。

③口座一元化について、特に異論はなかったが、手続きが煩雑にならないよう出来るだけ配慮する。

議 事4 名誉会員・永年会員候補者及び賛助会員感謝状の件

1. 名誉会員については、4名を社員総会に推薦することとした。
2. 永年会員については、9名を承認した。
3. 賛助会員感謝状贈呈については、9社を承認した

議 事5 2010年度各部会活動計画および予算概要の件

・各部会長より方針が提示され概ね了承された。但し、今年度の連結決算状況などにより見直しがあり得ることが伝えられた。

議 事6 精密工学会論文4賞選考委員会の件

一次選考委員 39名を承認した。

議 事7 その他

1. 表彰・助成推薦の件

「第39回日本産業技術大賞」および「第51回藤原賞」の推薦依頼の紹介。本会への申込締切を両賞とも1月25日として、会告等に掲示する。

2. 学協会の大会開催状況

日本工学会事務研で行ったアンケート結果が紹介された。精密工学会はほぼ平均的。

3. 会員状況の件

10月の入会：正会員；9名、学生会員；40名、及び賛助；1社を承認し、退会：正会員；2名、学生会員；21名を確認した。